

学校運営協議会 議事録

校名	府立 泉陽高等学校
校長名	栗山 悟

開催日時	令和 6年 2月 8日(木) 15時10分～17時00分
開催場所	本校 同窓会館 2階 集会室
出席者(委員)	瓜生 彩子委員 福井 隆一郎委員 志賀 亮子委員 増田 大介委員
出席者(学校)	栗山 悟(校長) 荒木 順子(事務局長・教頭) 境谷 秀一(首席・生徒指導主事) 明山 寛之(首席) 中野 祥利(教務主任) 鳥山 祐一(総務部長) 野口 清隆(進路指導主事) 田中 香織(保健主事) 黒木 陽仁(生徒会部長) 石橋 義之(ICT部長) 黒木 悠輔(1学年主任) 田辺 恵美(2学年主任) 大槻 朋宏(3学年主任) 森 和美(事務長)
傍聴者	なし
協議資料	資料① 学校教育自己診断の結果 資料② 令和5年度 学校経営計画及び学校評価(案) 資料③ 令和6年度 学校経営計画及び学校評価(案) 資料④ 各学年・分掌より報告 資料⑤ 制服についての取組報告
備考	会議に先立ち2年生「総合的な探究の時間」の全体発表の見学 13時00分～14時30分

議題等(次第順)	
<ul style="list-style-type: none"> ・学校長挨拶 ・協議 探究発表について <ul style="list-style-type: none"> 学校教育自己診断の結果について 令和5年度学校経営の評価について 令和6年度 学校経営計画について ・(学校側報告) 各学年・分掌(総務部・教務部・生徒指導部・進路部・生徒会部・保健部)より ・制服についての検討 	
協議内容・承認事項等(意見の概要)	
<ul style="list-style-type: none"> ・協議内容(意見の概要及び学校側からの回答) ○学校教育自己診断の結果について <ul style="list-style-type: none"> ・総合的な探究の時間に関する生徒と教職員の意識に差がある理由を教えてください。 →学力の定着に費す時間≦探究の時間 が本当に学力の向上につながるのか。という迷いが教員側にある。 ・おおむね自己診断の結果が肯定的であり、学校運営がうまくいっていると思われる。 ○令和6年度学校経営計画について <ul style="list-style-type: none"> ・令和5年を踏襲しているが、進路指導では個別最適化の観点を明確に打ち出す指標として「GTZ」を活用することとした。→客観的に把握できてよい。 ・進路指導体制を「泉陽キャリアグランドデザイン(CGD)」として明確化することによりさらなる進学実績の向上につなげる。 ・国際交流を推進することで異文化や多様性を理解し、国際的に活躍できる人材を育成する。 ○学年、分掌からの報告より <ul style="list-style-type: none"> ・遅刻・欠席の数が多くなっているがなぜ多くなっているのか。 →どの学校も同じような傾向。コロナ前後で学校に対する意識が保護者・生徒とも変化した。 ・次年度の会議について 年間3回を計画 第1回は5月9日(木) 	
次回の会議日程	
日時	令和 6年 5月9日(木)15:10～
会場	大阪府立泉陽高等学校 同窓会館 2階 集会室